

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1216 NO57

校長 伊波喜一

声が似て 仕草も似るか いつの間に 似た者どうし ミラーリングと  
一見しただけで、職場や家庭の雰囲気似ているということがあ  
る。その場に漂っている空気のようなものが、似たような雰囲気を  
作るのだろうか。また、兄弟が似るのは分かるが、本来、赤の他人  
であるはずの夫婦が、兄弟かと思間違うほど似通ってくるのには驚  
かされる。これはミラーリングという行為の影響による。無意識の  
うちに、相手の表情を真似るのがミラーリングだ。 小学校の学級  
も、担任のカラーがよく出ている。温かい雰囲気のある学級、おせっか  
いけど憎めない雰囲気のある学級、緊張感のある中に笑いのある学級  
など、担任の雰囲気が投影されていることを実感する。 高3担任  
の玉城先生は、言葉数の少ない方だった。しかし世界史の達人で、  
あまりの授業の面白さに引き込まれた。普段は居眠りばかりしてい  
る連中も、先生の授業はよく聞いていた。先生曰く「歴史といっ  
ても、つまるところ人と人との関係で成り立っているんだよ」。この  
つまるところが、当時、密かなブームとなった。穏やかな表情の奥  
に秘められたたぎるような先生の情熱が、私達を虜にしたのだろう。